

UEFI対応のSystem x /BladeCenter /Flex SystemサーバーとRedhat OSにおけるUEFI Boot Managerの設定

UEFI対応のSystem x /BladeCenter /Flex SystemのサーバーにUEFI対応のOSをUEFIモードでインストールすると、UEFIのBoot Managerへ自動的にOSの設定がされます。UEFIの設定をデフォルトに戻すと手動でUEFIの再設定が必要な場合があります。システムボード(マザーボード)の交換、SAN bootの稼働機から予備機の変更、バックアップソフトでバックアップリストア等の場合においても同様となります。

・RHEL(Red Hat Enterprise Linux)6/7については下記に従って設定を行ってください。

1. 起動時にF1 Keyを選択し、uEFIのセットアップ画面に入ります。
2. Boot Manager→Add Boot Option→UEFI Full Path Optionを選択
3. UEFIのパーティションとして認識されている場合、ANACONDA・・・と認識されていますので、それを選択します。
4. EFI>BOOT>BOOTX64.efiを選択します。
5. Input the Descriptionに文字列を入力します。ここで入力した文字列がBootOrderに表示されます。
6. Commit Change and Exitを選択し、設定を反映します。
7. uEFIのTOPに戻ります。
8. Boot Manager→Change Boot Order→Change the orderより、先ほど作成した文字列を選択し“+”キー(日本語キーボードはShift+右上“へ”のキー)で上部に移動させ、Enterキーを押します
9. Commit Change and Exitを選択し、設定を反映します。
10. uEFIのTOPに戻り、Start Optionsの項目から起動順序が反映されていることを確認し、Save Settingを行い、設定を保存します。

更新履歴-----

2011年03月11日 第1版
2014年12月12日 第2版
2015年04月03日 第3版
2015年7月15日 第4版